

イモリ



Vol. 84

しんぶん



発行日：2023年 8月 22日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

幼体イモリ、水へ！

幼体イモリたちを水の中に入れました。



おそろそろよ...

冷凍アカムシ
→
おぼた十日後のイモリ



えー...

めっちゃついに食べるやーん...

(※この写真にはほうってませんすみません)

泳ぎが「TとどTとど」しくて
うけるんで「すけど」～



イモリを水棲生活をさせる際の懸念事項は、以下の3点でした。

- ①溺れないかな？
- ②エサは食べれるかな？
- ③逃げ出さないかな？

心配だったのが、①と②でした。溺れないようにするために、足場をつくる必要がありました。大きめの石や素焼きの置き物、カマボコ板などを使って足場を作っています。

エサをきちんと食べてくれるかどうかは、最も心配した点でした。1匹に一つの虫カゴを用意するわけにはいかないので、5匹同時に住んでもらっています。全てのイモリがきちんとエサを食べるかどうか、また与えたエサをエサとして認識してくれるか心配でした。

いやなんか思ったよりもあっさり水中適応したな・・・ってなりました。しかし、ついさっきまで陸上生活（タッパー生活）をしていたので、泳ぎが辿々しかったり、エサの食べ方も下手くそでした。それでも幼体イモリたちがまた一步大人に近づいたようで、嬉しく思いました。



ちょっとずつ
水中生活をするイモリを増やしています

がんばれ、イモリちゃん！

次回 エサトレ最終回（予定）